

令和6年

決算特別委員会

9月10日

豊明市議会

決 算 特 別 委 員 会 会 議 録

令和6年9月10日

午前10時00分 開議

午前11時56分 閉会

1. 出席委員

委員長	近藤 ひろひで	副委員長	鵜飼 貞雄
委員	岡島 ゆみこ	委員	青木 けんじ
委員	鈴木 智和	委員	中堀 りゅういち
委員	浅井 たかお	委員	こんどう のぶお
委員	いとう ひろし	委員	服部 龍一
委員	武谷 としお	委員	郷右近 修
委員	林 ゆきひろ	委員	月岡 修一
委員	堀内 ちほ	委員	清水 義昭
委員	ふじえ 真理子		
議長	毛 受明 宏		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	加藤 健治	議事課長	深草 広治
議事課長補佐 兼議事担当係長	寺島 慎二	庶務担当係長	福田 悦子

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮 正典	副市長	土屋 正典
教育長	藤井 和久	行政経営部長	小串 真美
市民生活部長	伊藤 正弘	健康福祉部長	中村 泰正
経済建設部長	星子 恭士	教育部長	浅井 俊一
財政課長	浦 倫彰	総務課長	山田 隆貴
債権管理課長	高垣 茂晴	長寿課長	塚本 由佳
保険医療課長	近藤 有紀子	下水道課長	青山 康徳
環境課長	松本 裕介	会計管理者 兼出納室長	近藤 恒明

監査委員事務局長	平 下 義 之	長寿課長補佐	藤 弘 美 緒
財政担当係長	矢 野 佑 輔	監 査 委 員	井 上 新
監 査 委 員	三 浦 桂 司		

5. 傍聴議員

一 色 美智子

6. 傍聴者

一般傍聴者 2名

午前10時開議

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） おはようございます。ただいまから本日の決算特別委員会を開会いたします。

本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

それでは、会議に入ります。

認定議案第1号から第8号までを一括議題といたします。

会議の進め方について、特別会計、企業会計は各会計別に進めます。討論については、特別会計、企業会計の質疑終了後に一括して行い、採決は認定議案番号順に行いますので、よろしくお願いいたします。

最初に、認定議案第2号、豊明市国民健康保険特別会計から始めます。

理事者の説明をお願いいたします。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） それでは、国民健康保険特別会計の令和5年度決算について、歳出から説明いたしますので、実績報告書の138、139ページを御覧ください。

初めに、1款 総務費、決算額は7,274万955円でした。賦課徴収費での466万円余につきましては、隔年で行う保険証一斉更新がない年度であったことによるものでございます。

続きまして、2款 保険給付費でございます。前年度と比較し、1項 療養諸費の1目 一般被保険者療養給付費、2目 一般被保険者療養費で減額となり、2款全体での決算額は40億510万2,059円、前年度より8,937万円余の減額でした。これは被保険者数の減少によるものでございます。

続きまして、3款 国民健康保険事業費納付金、決算額は18億7,787万7,801円、前年度より1億1,083万円余の増額でした。

次に、4款 保健事業費5,636万9,086円、前年度より324万円余の減額でした。

その下、5款 基金積立金でございます。令和5年度は3億6,739万円を今後の税負担の緩和に充てるため、国民健康保険財政調整基金へ積立てをいたしました。積立て後の基金残高は4億5,240万余となっております。

続きまして、歳入の説明をいたしますので、決算書の260、261ページをお開きください。

1款 国民健康保険税でございます。一般被保険者の現年度課税分につきましては、調定額、収入額ともに前年度より減額となっております。こちらのほうの理由といたしましては、主に被保険者数の減少によるものでございます。保険税全体の収入額といたしましては、最下段、収入済額11億4,876万3,979円で、前年度と比較して7,450万円余の減収でござ

ございました。

ページをおめくりください。2段目になります。3款 県支出金を御覧ください。

1項1目 保険給付費等交付金の収入済額は、保険給付費用に充てるための普通交付金が39億8,967万8,353円で、前年度比6,792万円余の減額でございます。収入未済額が2億718万余となっておりますのは、交付停止額より保険給付実績が大きく下回ったことによるものでございます。

ページをおめくりください。2段目、5款 繰入金でございます。

1項 一般会計繰入金は合計で9億6,017万3,417円、前年度より2億8,647万円余の増額となっております。これは主に、歳出でも御説明いたしました国民健康保険財政調整基金への積立てによるものでございます。

ページをおめくりください。1番上の段にございます2項 基金繰入金でございます。国民健康保険財政調整基金から1億4,800万円を繰り入れ、税収入の不足を補填いたしました。

以上で国民健康保険特別会計の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

認定議案第2号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書137ページ、今説明もありました、文章で書いてあるな、全体でも85.57%で収納率が前年度より向上しているというふうに書いているんですが、現年度分が高くて、滞納繰越分は27%なんです、これは全体、それぞれどんな様子だったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 現年分と滞納分ということですが、特別に分けて収納を、納税折衝を行っているわけではなくて、滞納分、現年分も合わせた中で、全体の収納率が高くなるとよいと考えております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 国民健康保険の加入者数で、ちょっと4年度と比較したいので、4年度と5年度と加入者数、教えていただけませんか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 統計といたしましては、年度末での統計と平均での統計でございますので、それぞれお答えいたします。

者数といたしまして、年度末でございます、令和4年度は1万1,306、令和5年度につきましては1万660、646人の減でございます。年度中の平均につきまして、令和4年度は1万1,834、平均につきましては1万1,088、746の減となっております。

国保加入率についても併せてお伝えいたします。人口、人数での減につきましては、令和4年度は16.6%、令和5年度は15.7%となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の141ページの保健衛生普及費、医療費適正化ということでジェネリックを推奨していると思うんですけど、これでどれだけ効果が出たか、金額・数量ベースで教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） ジェネリックについてでございますが、数量ベースと金銭ベース等でございますので、年度末での数字をお答えしたいと思います。

数量ベースでは80.2%、金銭ベースでは58.8%となっております。効果をということでしたので、効果についてはなかなか直接的には分かりにくいものですが、年々増加する医療費の抑制的なものにはつながっているかと思われます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 国保加入者で、就業状況で無職の方というのは何名とか、何%とか、分かりますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 答えられますか。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 無職の方はなかなか国保では分かりにくいんですが、減免の申請の件数でということでお答えすることによろしかったでしょうか。

（いいですの声あり）

○保険医療課長（近藤有紀子君） 令和5年度で失業、廃業等での申請をいただいた件数は50件となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算書273ページ最上段、オンライン資格確認等運営負担金、国保全体でマイナンバーとのひもづけで、何だっけ、マイナンバー保険証と云えばいいのか、になっている方の数って分かりますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 直接ちょっと決算とは関係ないかとは思われるのですが、手元に持っている資料がございますのでお答えいたします。

直近、6月1日の資料になりますと、国保加入者のうち58.26%がひもづけをされております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ごめんなさい、もう一回質問繰り返してください。

○郷右近 修委員 意図が違って、最新のなら確かに決算と関係ないですけど、僕は決算の、この令和5年のデータで構わないので、実績で何人か分かりますかというのを聞きたい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 令和5年のデータをお願いします。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） パーセンテージは出しておりませんが、令和5年の12月1日のデータですと、1万809人中5,917人がひもづけでマイナンバー保険証をお持ちでいらっしゃいます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の263ページをお願いします。

県支出金、県補助金のところの保険者努力支援分が今回100万円以上ですかね、増額になっております。これ、いろんな指標があるかと思うんですが、どの部分の成果がこの増額につながったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 全体的には、全体的に上がったというところもございますが、収納率の向上が特に高かったというふうに捉えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書265ページの下から2つ目、その他繰入れについてですけども、これ、令和5年度は赤字補填はこのうち幾らになっていますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 令和5年度の赤字補填額については1億9,425万円でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 先ほどの続きです。

窓口でマイナンバー保険証を活用すると、再診料とか薬の手術の値段、何ぼか下がるかと思うんですけど、その使った方の分の影響額というのは分かったりしますか、令和5年度分で。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 分かりません。申し訳ありません。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） よろしいですか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 実績報告書140ページ、5款 基金積立金のところですが、先ほど御説明で、昨年度より上がったのが税負担の緩和という御説明を受けましたが、もうちょっと詳しくお教えいただければと思います。

あと、これが、この決算書のほうの5款で、どこの部分でというのも、ちょっと私、勉強不足で見方が分からないので教えてください。お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） まず、税負担の緩和でということについてでございますが、先ほどから御説明をさせていただいておりますように、被保険者数が年々減少してきております。一方で、今の140ページの上のほうにございます納付金というのが3款でございますが、こちらのほうの負担が、国、県からの激変緩和が少なくなることにより、令和5年度につきましては令和4年度より1億円程度負担が大きくなっております。そうしたことにより、本来必要な税収入がなかなか得られないことが発生しておりますので、本来それは税率改定で御負担をお願いしていくところでございますが、なかなか急激な負担は大きくなりますので、その分を一般会計から国保会計に繰り入れ、その次の年度、今後

についての負担緩和に充てていくために備えているものでございます。その金額がこちらのほうの基金積立金の3億6,739万円となっております。こちらのほうは、主に令和6年度に向けて7,000円程度、税額を上げさせていただいておりますが、それでも足りない分について充てる予定で、基金のほうに積み立てさせていただいているものでございます。

それから、どこの部分を見ればということの御質問でございましたが、それは一般会計のほうとも関連するところよろしかったですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 決算書の何ページかということです。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 決算書の中でいきますと、歳出、279ページの最下段に同じ基金積立金がございます。また、基金に向けて積み立てたページにつきましては、申し訳ありません、基金に向けて積み立てたページが279ページでございますが、歳入のほうにつきましては繰入れ、265ページのほうの下から、7、その他一般会計繰入金の6億1,103万8,000円の中にこの金額が含まれております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところのちょっと関連で、基金の積立てのほうは2億ほど増えています。その他一般会計繰入金のほうは3億増えているんですけど、今の説明ですと2億ほどは基金のほうに回っていてということかなと思いますけど、それでいいのかということと、あと1億はどういった理由での繰入れになっていますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） まず、一通りちょっと説明をさせていただきたいと思いますが、繰入れ総額が11億800万円となっておりますが、そのうち6億1,103万円が大きいところとなっております。その中のうちの3億6,739万円が基金に積み立てた分でございます。また、国保会計につきましては、認められている法定外繰入れというのが4,943万円ございます。それ以外に赤字補填となる繰入額が1億9,425万円という整理でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算書の277ページ、2款6項1目 傷病手当金、令和5年度の傷病手当におけるコロナウイルスが事由として発生した分というのは幾らか分かるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 3件で、ここに上がっている金額が全てでございます。
以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。
ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の269ページの上のところですが、一般被保険者第三者納付金が増えていますけれども、これは何か大きな1件があったのか、件数の増なのか、その辺の説明をお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 第三者納付金につきましては、1件当たりとか、どれくらいの期間で療養がかかったかによって金額が変わってくるものですが、件数といたしましては5件で、最大額400万円のケースがございました。
以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。
林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書141ページの真ん中辺りの特定健診についてですけども、受診率、5年度、教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 特定健診の受診率は、法定報告になります、令和4年度の数字が正式な数字になりますので45%でございます。
以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。
(進行の声あり)

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて認定議案第2号の質疑を終わります。
続いて、認定議案第3号 土地取得特別会計について説明願います。
山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） それでは、土地取得特別会計の決算を御説明させていただきます。

主要施策の成果及び予算執行の実績報告書で説明いたしますので、147ページをお願いいたします。

令和5年度につきましては、基金の預金利子としまして46万1,312円を基金に繰り出しをいたしました。

続きまして、148ページ、149ページをお願いいたします。

1 款 1 項 1 目 土地取得費につきましては、本年度、用地の取得がございませんでしたので、執行なしのゼロというふうになっております。

2 款 1 項 1 目 土地開発基金費46万1,312円につきましては、土地開発基金の預金利子となりまして、基金のほうへ繰り出しをいたしました。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

認定議案第3号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 土地開発の取得ですけれども、たしか土地が20筆で7,600平米ほどあるというふうに聞いていますけれども、これはそもそもどのような目的で保有しているのかということと、本市、土地開発公社もありますけれども、こちらのほうで、特別会計のほうで取得しているメリットというのは何があるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） まず20筆の内訳ですが、面積、7,819.60平米になりますので、7,600よりかはちょっと多いものになります、7,819.60平米を持っております。

取得の目的につきましては、道路用地、あと公園の用地ですね、そういったものが主なものになってくると、取得の目的となっております。

あと、土地開発公社で取得する場合と基金のほうで取得する場合の違いですけれども、基金の場合につきましては、この土地特会のほうで取得をさせていただきますので、補正予算のほうを組みまして、議員の皆様にご意見をいただいた上で取得のほうをしていくと。一方、土地開発公社につきましては、本当に急な、どうしても、基金のほうも議決されて認められておるものだと思いますので、本当に急に取得をしなければいけない場合、どうしてもそこを取得しないと事業が進めれないといった場合につきましては、基金で取得のほうを考えられております。いずれにしても慎重な考えが必要だとは思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 土地開発公社とは一緒にはできないものなんですかね。それぞれどうというよしあしというのがあるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 決算の範囲で教えてください。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 中身としましては今と一緒になんですけども、公社で取得した場合は、後々事業化したときに交付税措置とかがされますので、そういったメリットも発生するため、慎重な判断が必要だというふうに申し上げた次第です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 決算に関する質問をお願いします。

ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 あと、預金利息が年々下がってきているんですけども、資金、これ、なぜ預金利息、利子が下がってきているのかということと、運用の見直し等は検討されなかったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 利息につきましては、毎年出納室のほうで、入札ではないんですけども、預金利息の高いところを選択していただきまして、適正に預け入れがされております。市場の変動もありますので、金利が動くのは仕方ないことかなというふうに思っております。

もう一つ、すいません、もう一つが。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） もう一個何だった。それでいいですか。

（運用の見直しの声あり）

○総務課長（山田隆貴君） 運用の見直しにつきましては、ほかに投資とかといった、そういったデメリットというか、リスクの高いものを選ぶよりかは、預金が一番安全だというふうに思われますので、それを選択しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の148の土地取得費なんですけど、今回の予算は、23万8,000はどのような予算額、どういったものなのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） これは土地取得特別会計の特性でもあるんですけども、入と出が同じ金額になっておりますので、実際預金利子はある程度想定がされる部分もあります。それに合わせるように、実際測量等が1筆行えるぐらいの予算を大体見込みまして、おおよそこれぐらいの金額が毎年設定、多少ばらつきはありますけども、おおよそこれぐらいが設定されておるといふ次第です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて認定議案第3号の質疑を終わります。

続いて、認定議案第4号、墓園事業特別会計について説明願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） それでは、墓園事業特別会計の令和5年度決算の説明をいたします。

歳出より説明いたしますので、実績報告書の154ページ、155ページを御覧ください。

1款1項1目 一般管理費です。前年度比較約246万円の減となっております。墓所の有償返還件数の減少が主な要因です。主な事務事業としましては、指定管理料、墓園管理基金積立金、永代使用料還付金がございます。

次に、2款1項1目 墓園建設費です。決算額は前年度とほぼ同額でございます。

次に、3款1項1目 公債費元金及び2目 利子です。平成25年度から第2期第3工区建設費の元金償還が始まり、令和8年度まで償還してまいります。

以上、歳出合計1,804万2,071円でございます。

続きまして、歳入の説明をいたします。実績報告書の153ページを御覧ください。

上段の表は永代使用料の収入状況です。前年度と比較して約8万4,000円増になっております。令和5年度は19区画の申込みがございました。下段の使用状況の表は、総区画数を基に、返還も含めた令和5年度中の異動状況を示したものです。残数は707区画となっております。

次に、永代使用料以外の主な歳入の説明をいたします。

すいません、歳入歳出決算書の310ページ、311ページを御覧ください。

中段、3款1項1目 基金繰入金です。基金から約898万円を繰り入れております。

以上、歳入合計2,242万4,942円でございます。

以上で墓園事業特別会計の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

認定議案第4号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書155ページで、墓園の管理、指定管理に出していますけども、いろいろ勅使墓園で販売をしたりとか、花の販売をしたりとか、そういったことをしていると思うんですけど、そういった指定管理がやっていることでの収入はどれぐらいあ

って、それはどういうふうに活用されているんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 仏花の販売に関しましては、指定管理者でパートナーズの事業として行っておりまして、令和5年度はお盆と彼岸、合わせて計3回ですね、45万6,000円の売上げがございました。こういったものはあくまでも自主事業ということになりますので、直接市の歳入に跳ね返るということは現時点ではございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 市の決算には関係ないという解釈でいいですね。指定管理の中の話ですよ。

○環境課長（松本裕介君） そのとおりです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 収入や決算に関係ないということですけど、指定管理して、実際今回の決算を見ても、区画もちょっと減っているような状況なんですけども、指定管理を実施してどういう効果が出ているんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 指定管理の効果につきましてはいろいろございますけれども、先ほどのとおり、仏花の販売に関しましては新たに始めたことですし、これによって、アンケートの結果でも仏花の販売がありがたいとか、そういったお声は御頂戴しております。さらに、墓園の草に関しまして、令和4年度と比べて非常に改善されたというお声も御頂戴しておるところでございます。さらに、空き区画で、まだ買手の方がいらっしゃらない区画に関して、防草シートを指定管理者さん、張っていただいておりますので、そういったところできめ細やかな墓園の管理ということができておるのかなと思います。さらに、墓守サービスというのも指定管理者としてはメニューにはございますので、そういったことも総合的に利用者様の利便向上に努めていただいているところです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の155の指定管理料なんですけど、去年が560万、今年が550万、5年度が550万で、10万円下がった理由というのはどうなんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 指定管理料につきましては、まず、令和4年度から令和8年度までの5年間の総額で2,780万ということになっておりまして、そのうちの内訳という

ことをごさいますので、明確な要因があるということではございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 ちょっと説明にあったかもしれなくて、聞き漏らしたかもしれませんが、決算書305ページの一番上の不用額450万円が、どんなものが不用額であったのかというのを知りたいです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 答えられますか。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 不用額につきましては、永代使用料の還付金が想定より少なかったことによる不用額が主な要因です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほど、指定管理を行っている効果の中で墓守サービスというのがあるってお聞きしましたが、何件ぐらい利用されているのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、すいません、説明、補足になりますけど、墓守サービスというのは、現在指定管理者と、あとシルバー人材センターさんが両方やられております。内容につきましては、シルバー人材センター様のほうが墓参りのときのお写真を撮ったりとか、そういう報告書や何かがないよという部分で、そこまで大きな違いはないんですけど、価格のほう、シルバーさんのほう。

（決算の範囲内で、件数とかそういうことではなくの声あり）

○環境課長（松本裕介君） パートナーズの墓守サービスはゼロ件です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて認定議案第4号の質疑を終わります。

続きまして、認定議案第5号、介護保険特別会計について説明願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） それでは、介護保険特別会計の歳入歳出決算状況について御説明いたします。

まず、決算書において歳入の概要を説明いたしますので、320ページから323ページにか

けての歳入をお願いします。

323ページ、最下段、歳入合計の収入済額の欄です。歳入決算額は55億5,319万2,316円、前年比9,485万1,264円の増額となっております。

主な増減について御説明いたしますので、320、321ページをお願いいたします。

1行目、1款 介護保険料は収入済額12億2,356万4,727円で、前年比約1,668万円の減、収納率は99.34%でした。

3行目、3款 国庫支出金は約3,463万円の増で、こちらは給付費が増えたことによるものです。

その下、4款 支払基金交付金は約2,130万円の増で、こちらは2号の保険料です。

7行目、7款 繰入金は一般会計や基金の繰入れて、約6,639万円の増です。

その下、8款 繰越金は約5,383万円の減。

その下、9款 諸収入は約2,748万円の増で、第三者納付金約2,781万円が主な増額要因です。

次に、324ページから327ページにかけての歳出です。

326ページ、最下段、歳出合計の歳出済額の欄です。歳出決算額は53億383万2,257円、前年比7,428万4,674円の増額となっております。

歳出の主なものにつきまして、実績報告書にて御説明させていただきますので、160ページ、161ページをお願いいたします。

まず、上段、1款 総務費です。総務費全体では1億3,647万1,357円、前年比約832万円の増です。一番上の行、1項1目 一般管理費9,154万1,777円で、前年比316万円の増額は、介護保険人件費の減額と介護保険システムの改修業務委託の増額との相殺によるものです。

5行目、5項1目……。

(アイサツって言ったよねの声あり)

○長寿課長（塚本由佳君） ごめんなさい、相殺によるものです。失礼しました。

5行目、5項1目 計画策定委員会費は361万8,364円で、前年比約354万円の増額となっております。第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定業務委託340万円ほどが主な増額要因です。

続いて下段、2款 保険給付費です。保険給付費全体では47億5,925万8,179円で、前年比約1億1,669万円の増額です。主な増減としては、1項1目 居宅介護サービス給付費約1億792万円の増、2つ下、3目 地域密着型介護サービス給付費約604万円の減、一番下、9目の居宅介護サービス計画給付費、約1,024万円の増。1枚めくっていただき、162ペー

ジ中段、4項1目 介護サービス費約578万円の増などが主な要因です。

1枚おめくりいただき、164ページをお願いいたします。

中段、3款 地域支援事業費は1億4,710万8,142円で、約342万円の減額となっています。

下段、4款1項1目 保健福祉費、事業費は334万3,970円で、前年比約650万円の減です。前年度に第9期介護保険事業計画策定のために行った高齢者実態把握調査が完了したことによる減額です。

続いて、1枚おめくりいただき、166ページ最上段、5款 基金積立金です。前年比1,067万1,000円増の1億9,701万2,000円を積み立てました。

次に、3段目、上から2行目、7款1項2目 償還金3,232万63円は前年比約5,345万円の減です。介護給付費負担金など、国や県への返還金の減額が主な要因です。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

認定議案第5号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書159ページ、収納のお話で、こちらにも現年度の普通徴収や滞納繰越分の収納率が引き上がっています。それぞれ何か具体的な新しい努力とか、そういったものはあったのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 収納率、高垣課長かな。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 特段、現年分につきましては、特別徴収、普通徴収ともに特に変わったことはしておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 滞納分が大分収納率、引き上がっていますが、令和5年度の滞納分の収納に関して、差押えによる収納というものがあつたかどうか、あつたらどのぐらいの金額かとかいうのは分かるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 滞納分でございます。滞納分の差押えの部分でよろしいですかね。介護保険、件数でいきますと30件差押えを行っております。差し押さえた金額としましては216万ほどとなっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 鈴木委員。

○鈴木智和委員 ページ数は分からないんですけども、保険給付費は増額傾向にあると思いますけども、その要因は何とお考えでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 給付費の増額につきましては、サービスを使われますと、件数的に上がってくると給付費が上がってくるというふうになっておりまして、居宅介護サービスのほうが上がっているという状況でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書の335ページの真ん中辺りの保険者機能強化推進交付金とその下の介護保険保険者努力支援交付金、これ、たしか豊明モデルの影響で、幾らか交付金、入っていたと思うんですけども、ちょっと徐々にこの交付金が減ってきているような状況なんですけども、この理由は分かりますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらのほうは評価のほうの視点といいますか、そちらのほうが変わったことによるもので、事業をやったやらないということのほかに、改善だとか変化をつける、新しくやったりしたものについて高く評価するという傾向がありますので、豊明の場合はもうたくさんものを作っておりますので、また新たにしないと評価が上がらないというふうに、ちょっと評価のポイントが変わったことが影響しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 その下の事業費補助金で160万あるんですけども、これはどういった補助金になるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらのほうは、決算書の345ページの下のほうにあります電算関係委託料のところでございますが、こちらのうち、介護保険システム報酬改定によるシステム改修の補助としていただいているものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の361ページ、家族介護支援事業、一番上段の枠の中の、その中の一番下、徘徊高齢者家族支援サービス事業委託料についてお尋ねします。

まず、これ、呼び方が今、本市でひとり歩きというふうに変えているかと思うんですが、ここの呼び名が変わらないのかなというのを1つ思ったのと、あと、この委託料、サービス事業の登録人数がどのぐらい増えたのかということ、まずお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 名前というか、名称につきましては、委員おっしゃるとおりひとり歩きというふうに今しておりますので、そちらのほうがちょっといいかなというふうにも思われますが、一応これ、節の名前ですので、そういう名前ですので、対外的にはひとり歩きというふうで説明させていただいておりますのでお願いいたします。

あと、こちらのほうの件数でございますが、令和5年度は85人、延べ人数ですが、前年度が76人ですので、9人増ということになっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 ここに、この事業と関連になるんですが、行方不明の高齢者の見守りネットワークというのがあるかと思えます。令和5年度の見守りネットワークとして登録している人数と、あと、逆に自ら事前に、何かあった場合にはという事前登録者数というのが、令和5年度、また累計が分かればお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） すいません、見守りネットワークのページ数を、もし……。

○ふじえ真理子委員 ページ数が分からないんですけど、同じこの家族介護のひとり歩きをされている方の行方不明になった場合に、今、市のほうからメール配信が届くんですけど、その。

○長寿課長（塚本由佳君） 登録者数ということですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 分かりますか。いいですか。答えられますか。

○長寿課長（塚本由佳君） すいません、決算で、ちょっと今私、決算ベースで持っているものですから、今把握はできてないところでございますが、ネットワークで、確かに見守りのほうで無報酬でやっていただいているということもございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか、ふじえさん。ふじえ委員、いいですか。個別に問合せしてください。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の164ページ、4款 保健福祉事業、保健福祉事業費、前年と比較で大きく減額しているの、説明欄にも書いていますけど、たまたま令和5年度が1年ごとの変動で該当する方が少なかったからこうなったというだけなのか、ここに書いてあるように、弱っている方を自立できるように、令和4年度にこういうふうにした結果、令和5年度はその方々が目標どおり自立できるようになって少なくなっているという話なのか、何か中身が分かったら教えていただきたいです。

(委員長、すみません、ちょっとページをもう一回言ってもらってもいいですかの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) ページ言ってください。

○郷右近 修委員 実績報告書164ページの一番下に書いてあるものですね。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 164ページの最下段。

塚本課長。

○長寿課長(塚本由佳君) すみません、ちょっとページのほうが見落としてしまして、すみませんでした。

こちらのほうは、栄養サービス等の件数のほうが変わったということによるものでございます。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 郷右近委員。

○郷右近 修委員 なので、その辺の取組が、令和4年度が熱心にやったから、令和5年度はその方々がめでたく自立できて下がったよみたいなことなのか、単純にたまたま偶然なのかが何か分かたら知りたいということなんです。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 効果が出たか、たまたまか。効果が出たということで返答してください。

塚本課長。

○長寿課長(塚本由佳君) 効果のほうは同じなんです、この減額ですよ、こちらのほうは実態調査のものが含まれているかどうかの減額分ですので、業績につきましてはそんなに変わらないところではございます。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 清水委員。

○清水義昭委員 同じところで聞くんですけど、これ、前年度、実態調査の把握の委託料がかなりの額あったんですけど、令和5年度はその実態調査の委託がここに載っているだけということに理解しているんですけど、それが少なかった理由というのは何かありますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 実態調査のほうが650万円ほどございましたので、実際的にはそんなには変わってはいないというふうには、栄養改善とかのほうは変わっていないというふうには思っています。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中村部長、補足されますか。

中村部長。

○健康福祉部長（中村泰正君） 今の650万減っているというのは、計画をつくるための事前の実態調査として600万円計上したのが、もう計画をつくっていますので、それがなくなっているだけで、この改善の配食云々かんぬんとは直接的に関係のない部分で600万減っているということで御理解いただきたいと思います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 ということは、実態把握調査の委託は今年度は、5年度はかけていなかったということでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） アンケートのほうは、実態調査のほうは令和4年度でやっておりまして、令和5年度はないものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 予算のほうで120万ぐらい上がっているんですけど、その委託はかけてないということでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 計画のための、この実態調査の120万円ではございませんので、120万円はこちらのほうの緊急一時の施設の保護等、そちらのほうのものになります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書361ページの先ほどの家族介護支援事業の徘徊高齢者のサービスの2つ上、高齢者見守りフォロー事業の委託料についてですけども、まず、これ、利用している方が何人いて、これ、委託料が毎年いろいろ変動しているんですけども、これは利用の人数に応じて変動するという理解でいいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） まず、こちらのほうは、人数ですが、令和5年度は1,189人、延べ人数になります、前年度が1,046ですので、この差額は利用者の数によるものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 月ごとの金額の違いはどうか。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 月ごとの金額は変わっておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 分かればですけど、その単価、どれぐらいかということと、あと、これ、たしか月額何百円か利用料が要ると思うんですけど、これ、歳入には入っていないんですけど、どういう契約になっているんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらのほうは4,928円が月額かかるものでして、利用者負担は月700円かかることになっております。歳入のほうには、市のほうには入っておりませんので、入っておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと別のところですけど、実績報告書の161ページの上の介護認定審査会等認定調査事業ですけど、一般的に認定調査を実施して審査すると思うんですけども、この認定調査等審査した件数が何件か、200件ぐらいずれているんですけども、これ、何でこんなずれてくるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 認定審査の件数につきましては、こちらのほうは訪問して認定調査をして、そして認定をするということになります。審査会の回数につきましては1週間にまとめて2回行っておりますので、審査会の回数のほうは少なくなっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 審査会の回数といいますか、審査した件数ですね。件数のほうが多いということは、実際に調査をせずに認定審査をしている件数が幾つか、百何十件かあるという、そういうふうでいいんですか。認定審査件数が2,190件で、下の認定調査のほうで1,998件となっているんです。それで、これって普通、調査をして、訪問調査して審査す

と思うんですけども、これは調査せずに審査をしているのがあるということですかね。
お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 失礼しました。認定審査の件数と調査実施件数の差ということ
とでございますね。調査のほうは、調査と審査会の年度が違うことによるものです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、調査、つまり認定調査のほうは5年度やって、6年度に審査
するのもあるという、そういうふうでいいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） そのとおりです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その下の居宅介護サービスと介護サービス給付のグループホーム、
その下の施設介護サービスのところですけども、今、待機者というのはどれぐらいそれぞ
れいるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらのほうの施設のほうの入所のほうの待機の状況につ
きましては、県の直近の調査では、令和5年4月1日現在になりますが、27名となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告166ページの一番上の基金の積立でですけども、前年度も
1億8,000で、今回、令和5年度も1億9,000と2億近く積み立てている、そういう状況あ
って、これは報酬改定は今年度からなので上がっていると思うんですけども、今期、第9
期なんですかね、第9期の見通し、こんだけ、今回2億も積み立てていて、使えるのか、
どういうふうにするのか、見通しは立っているんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 基金の積立でにつきましては、今年度は給付費が、上がっ
ているとはいえ、見込みよりはそこまで達していないために、基金を積むことができたとい
う状況でございます。来期につきましては、給付のほうはまた上昇していく見込みもござ
いますので、今のところは今の現状のほうを保っていきたいというふうには考えておりま

す。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の169ページの一番下、4款 保健福祉事業費、高齢者緊急一時保護事業委託についてお尋ねします。

これの中身について、一時保護ということですが、その保護、通報からなのか、本人からなのか、その保護の判断基準と、あと、この委託料に含まれているものの内訳。今回大幅増になっているんですが、何日間なのか、人数が多いのか、ちょっと分からないんですが、この委託料について説明してください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 実績報告書の169ページのところにございますのは、医療法人清水会が行っていただいた委託料になっております。こちらの内訳は2人で3件というふうになっております。状況につきましては様々ではございますが、通報があったものかどうか、御自身のところから御連絡があったものかどうか、そういったものは様々でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 168ページの1番下に一般介護予防事業評価ってあるんですけども、先ほど高齢者のほうの評価というか、そういうのは今年度実施していないということですが、ここにもそういう事業評価というのがあるんですが、それとの違いといいますか、あと目的、これはどのように活用されているんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 先ほどの調査のほうは3年に1回で、事業計画をつくるために調査しております。この毎年的一般介護予防事業評価のほうの委託料につきましては、一般介護予防費を評価することで、先ほど歳入で順位とかが変わってくるものがあつたかと思うんですけども、歳入のほうのインセンティブのほうの評価のものに対して、こちらのほうを使っているという状況でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて認定議案第5号の質疑を終わります。

ここで、会議の途中ですが、1時間たちましたので7分30秒休憩いたします。

(発言する者あり)

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） すいません、クレームつきましたので7分休憩します。

午前10時59分休憩

午前11時6分再開

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 続いて、認定議案第6号、後期高齢者医療特別会計について説明願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） それでは、後期高齢者医療特別会計の令和5年度決算につきまして、歳出から説明いたしますので、実績報告書の174、175ページを御覧ください。

初めに、1款 総務費です。1項 総務管理費、決算額906万680円は前年度より150万余の減額でございます。これは前年度の臨時的な通信運搬費がなくなったための減額でございます。

3項 保健費、決算額5,127万8,092円は、前年度より497万円余の増額で、はつらつ健診の受診者数の増加と公課費によるものでございます。

次に、2款 後期高齢者医療広域連合納付金でございます。決算額11億6,351万6,891円は前年度より1,885万余の増額となっております。

続きまして、歳入を御説明いたしますので、決算書の378、379ページを御覧ください。

1款 後期高齢者医療保険料でございます。収入済額は合計で9億9,640万1,056円、前年度より667万円余の増額となっております。

続きまして、2款1項 一般会計繰入金です。

1目 事務費繰入金は2,337万9,380円で、前年度より510万円余の増額、2目 保険基盤安定繰入金は、保険料の低所得者軽減分を繰り入れるもので1億6,731万5,764円、前年度より1,284万円余の増額でした。

次のページをお願いします。

上から2つ目の表、4款3項 後期高齢者医療広域連合支出金は、健診事業など受託金を広域連合から収入したもので4,329万8,157円でした。

2目の後期高齢者医療広域連合補助金が285万円余の減額となっておりますのは、前年度の臨時的な通信運搬費に関する補助がないものによるものです。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

認定議案第6号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の137ページです。

先ほどと同じように、滞納繰越分における滞納処分の中で、失礼、間違った。大変失礼しました。

173ページです。徴収における滞納繰越分の収納について、差押えをした例について、お答えいただきたいと思います。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 後期高齢者分の差押えでございますが、件数は12件、金額は72万円ほどとなっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 ページ数は分かりませんが、医療費の高騰で後期高齢者医療に与える影響はどのように予測していますか。また、医療費の高騰に対して……。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） すいません、一般質問なので、5年度のこの内容で質問してください。いいですか。5年度の効果でいいです。

○鈴木智和委員 分かりました。じゃ、やめます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 こちらもページ数というか、国保と同じように、この後期のほうの加入者におけるマイナンバー保険証の件数が分かれば知りたいです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 令和5年度でね。

○郷右近 修委員 そうです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） ちょっと後期のほうは手元に持っておりませんが、6月議会の中で広域連合の規約改正をお認めいただいた際の回答として回答させていただいたものがございますので、また後ほど別の場でお答えするということがよろしいでしょうか。

○郷右近 修委員 分かりました。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） この間じゃなくて個別でもいいですか。

○郷右近 修委員 いいです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書の381ページの真ん中にあります後期高齢者医療広域連合補助金ですけども、これはどういった補助金なのか。これ、かなり4年度と比べて減ってきているので、その理由もお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 決算書のページ数をもう一度お願いします。

○林 ゆきひろ委員 381ページです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 実績報告書。

○林 ゆきひろ委員 決算書の。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 決算書の。そうだ、決算書の。

○保険医療課長（近藤有紀子君） こちらのほうは歯科健診によるものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 4年度と比べてかなり減ったのはどうしてですかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 4年度は受診者数がコロナの影響で一旦跳ね上がり、その後少し下がっていることによるものです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 ちょっとページ数はないんですが、後期高齢者医療の1割負担、2割負担、3割負担の方のそれぞれの令和5年度の人数を教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） それぞれ申し上げます。1割負担の方が7,064、2割負担が2,744、3割負担が907でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ページ数、実績報告書174になるのかな、今、1割負担、2割負担、3割負担ということで、たしか令和4年度の途中から改定されたかなと思っているんですけど、その影響で、例えばこの2款の広域連合の納付金、これ、前年度比較で上がっているんですけども、こういう納付金に対しての影響だったりとか、そういったものというのはないのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） まず、負担割合については、あくまで自己負担に関するものでございます。納付金に関しましては、広域連合の料を納めるためのものでございますので、あくまで医療費に関して1割、2割、3割というのが、療養給付費に影響はあるかと思いますが、税の収入に関しては全く関係ないものでございます。

以上です。失礼しました。税ではなく料でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて認定議案第6号の質疑を終わります。

続いて、認定議案第7号、水上太陽光発電事業特別会計について説明願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） それでは、水上太陽光発電事業特別会計の令和5年度決算の説明をいたします。

歳出より説明いたしますので、実績報告書の180ページ、181ページを御覧ください。

1款1項1目 一般管理費です。前年度とほぼ同額となっております。主な事務事業としては、保守管理委託、施設の保険料、土地借上料及び消費税です。

次に、2款1項1目 太陽光発電建設費です。工事がございませんでしたので、支出はございません。

次に、3款1項1目 公債費元金及び2目 利子です。施設整備に係る元金及び長期債利子の償還をしております。

次に、4款1項1目 他会計繰出金です。これは一般会計の繰り出しになるものです。

以上、歳出合計6,130万3,546円でございます。

続きまして、歳入の説明をいたします。歳入歳出決算書の400ページ、401ページを御覧ください。

上段の1款1項1目 売電収入です。当初の売電見込み約6,109万円に対して約6%増の約6,502万円となっております。

1段飛ばしまして、3款1項1目 繰越金です。決算額は前年より約127万円増の約1,243万円となっております。

以上、歳入合計7,745万3,475円でございます。

以上で水上太陽光発電事業特別会計の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

認定議案第7号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算書400ページ、歳入の一番最初の売電収入です。

九州だけじゃなくて、この辺りの地域でも、今みたいな天候なんかによっては買取りの中止というか、始まっていたように思ったんですが、令和5年度は、この事業でそういった影響というのは特になかったということでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 出力制御ということはありましたけれども、売電ができないということはありません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の179ページの、これ、パネルが6,720枚あって、令和5年で破損したりして交換した枚数はどのぐらい、費用もどのぐらいになるんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 破損したパネルの件数ですけれども、2枚破損しておりまして、交換に約59万円ほどかかっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 あと、保険料というのがありまして、これ、先回、銅線の盗難とかがあったんですが、それには対応できないということで、この保険の対象というか、どういったものに対象になるものなんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 破損したところの対象ですね。銅線は関係ないんですか。

○こんどうのぶお委員 銅線も関係あります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 破損した部分の交換につきましては。

（5年度の声あり）

○環境課長（松本裕介君） 5年度ですね。5年度の保険の補償内容としては、火災、落雷、事故による損害と、それによる売電の中断の補償、第三者への補償がございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） パネル2枚を保険対応、どのようにできたかという質問だと思いますけど。いいですか。

（いや、いいです。今のでいいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 今のでいい。失礼しました。

ほかにございませんか。

関連。林委員。

○林 ゆきひろ委員 保険料が令和4年度と変わって上がっているんですけども、補償の対象とか内容というのは何か変わったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 保険の対象は変わっておりません。ただ、保険料自体が上がっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ちょっと来年度の決算に向けての質疑になるんですが、この令和5年度で6月と7月の売電収入をお願いできますか。理由としては、今年度6月、7月、発電できていないと思いますので、お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 6月と7月につきましては、6月が499万728円で、7月が585万7,285円です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 令和5年度の1年間の発電量ってどれぐらいありましたか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 発電量は21万7,900、243キロワットアワー。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） すいません、課長、もう一回。100が2回出ましたので。羅列でいいですよ。

○環境課長（松本裕介君） 2179243です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 単位は。

○環境課長（松本裕介君） キロワットアワーです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） キロワットアワーね。

ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 発電量が年々上がってきていて、なので収入が上がってきているのかなと思うんですけども、これはどうした理由というか、背景で、何か工夫とかされたこととかがあるんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、日射量が上がっておることと、あと、委託の中で草や木が太陽光のパネルをちょっと覆ってしまいますので、その部分の手当てをしておるといのが工夫でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 売電収入が上がっているということでいいと思うんですけど、一般会計の繰り出しのほうは減っていつているんです。この辺はどうして、収入は増えているのに繰り出しは減らしているのはなぜですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず積立金を、50万積み立てていたものを300万というふうに増額しております。さらに、すいません、昨年度の話なんですけど、いろんな委託料とか工事がやはりかかってきますので、そういった部分で費用が増加しておるといので、一般会計に繰り出せる分が現状推移しておるといことです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて認定議案第7号の質疑を終わります。

続いて、認定議案第8号、下水道事業会計について説明願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 決算書の409ページをお開きください。

認定議案第8号 令和5年度愛知県豊明市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定です。

本認定議案につきましては、地方公営企業法第32条第2項の規定により、剰余金処分計算書に記載のとおり利益を処分することについて、議会に諮る必要がございますので、議決を求めるとともに、同法第30条第4項の規定により豊明市下水道事業会計決算を議会の認定に付するものでございます。

それでは、決算書412、413ページを御覧ください。令和5年度の決算報告書です。

収益的収入及び支出です。

上段の収入につきまして、第1款 下水道事業収益の決算額は12億6,792万3,453円で、予算に対しての執行率は99.8%です。

その内訳は、第1項 営業収益は下水道使用料と雨水処理に係る他会計繰入金を計上したものです。

第2項 営業外収益は他会計からの繰入金や国庫補助金などです。

第3項 特別利益はございませんでした。

次に、下段の支出です。

第1款 下水道事業費用の決算額は11億9,961万3,877円で、予算に対しての執行率は94.4%です。

その内訳ですが、第1項 営業費用は、人件費委託料、流域下水道負担金などの維持管理費用と減価償却費です。

第2項 営業外費用は企業債利息などです。なお、消費税額の確定により予算額に不足が生じたため、営業費用から1,562万2,600円の流用を行いました。

第3項 特別損失、第4項 予備費については執行がございませんでした。

1枚おめくりいただき、414、415ページをお開きください。資本的収入及び支出です。

上段の収入につきまして、第1款 資本的収入の決算額は3億132万700円で、執行率は49.4%です。

その内訳は、第1項 企業債、第2項 他会計出資金、第3項 他会計負担金、第5項の負担金等は下水道事業受益者分担金です。

次に、下段の支出です。

第1款 資本的支出の決算額は5億8,548万5,352円で、執行率は63.9%です。

第1項の建設改良費は、管渠施設等の建設費、流域下水道への建設負担金などです。

第2項 企業債償還金は、起債の元金償還金です。

なお、欄外におきまして、資本的収入が資本的支出に不足する額について、補填する財源の内訳を記載しております。

続きまして、次のページ、416ページをお開きください。

令和5年度の損益計算書です。

上段より、1、営業収益、2が営業費用で、収支の結果の営業損失が4億4,900万6,023円です。

3、営業外収益、4、営業外費用で、ここまでの収益合計から費用合計を差し引いた当年度の経常利益は6,443万4,513円です。

特別利益、特別損失はなく、当年度純利益は6,443万4,513円です。

その他未処分利益剰余金変動額を加算した合計1億9,742万7,816円が当年度未処分利益剰余金となります。

続いて、418、419ページです。令和5年度豊明市下水道事業剰余金計算書です。

資本金、剰余金それぞれに当年度変動額を加算した当年度末残高は表のとおりとなり、当年度の未処分利益剰余金が1億9,742万7,816円となったことを表しております。

次のページ、420ページです。令和5年度豊明市下水道事業剰余金処分計算書案を御覧ください。

当年度末の未処分利益剰余金の処分につきまして、当年度純利益6,443万4,513円を減債積立金に積み立て、昨年度減債積立金に積み立てられ、今年度取り崩された1億3,299万3,303円は資本金に組み入れる案としております。冒頭で申し上げたとおり、地方公営企業法第32条第2項の規定により議決が必要でございますので、お認めいただきますようお願いいたします。

この減債積立金につきましては、企業債元金償還金に充てるための補填財源として、次年度以降の内部留保資金となります。

続いて、決算書の422、423ページを御覧ください。令和6年3月31日時点における貸借対照表です。

422ページの資産の部ですが、有形固定資産、無形固定資産、投資、その他資産を合わせた固定資産合計は146億6,784万4,476円です。

2の流動負債を加えた資産合計は152億5,527万9,356円となります。

次に、右側の423ページ上段、負債の部です。

3の固定負債、4の流動負債、5の繰延べ収益を合わせた負債合計は107億1,114万3,760円となります。

同ページ下段、資本の部ですが、6の資本金、7の剰余金を合わせた資本合計は45億4,413

万5,596円で、負債と資本を合わせた負債資本合計が152億5,527万9,356円となり、左側の資産合計と一致します。

425ページ以降は決算附属書類となりますが、令和5年度のキャッシュフロー計算書としまして、434ページをお開きください。

こちら、キャッシュフロー計算書は現金のみの動きを示しております、業務活動、投資活動、財務活動それぞれによるキャッシュフローを表しております。当年度事業運営の結果、資金増加額は2億9,487万2,547円で、期末残高は5億1,519万3,530円となりました。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

認定議案第8号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書416ページの損益計算書、営業外収益の中の他会計補助金、これが前年度と比較して1億何千万か増額しているんですけども、この他会計補助金が増えている理由をお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 他会計補助金が増えている、令和4年度と比較して増えている主な理由としましては、令和4年度に特別利益としまして流域下水道維持管理費負担金の返還金がございましたが、令和5年度はこれがございませんでしたので、補助金の額が増えているという形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございせんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 要は、先ほどの件ですけども、返還金がない分、金額を出して、減価償却費に充てているという、そういう理解でいいですか。432ページのところの使途に減価償却費って書いてあるんですけど、去年も補助金、これ、減価償却費に当たったんですけど。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） おっしゃるとおりです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございせんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 415ページの資本的収入、支出ですね、第4項の国庫補助が予算額に

比べて7,300万減額ということですが、この理由はなんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） こちらにつきましては、国庫補助となる工事が翌年度に繰り越されたためでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 どのどのいった工事があれでしたっけ、繰り越されたんでしたっけ。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） こちらにつきましては、415ページ下段にございます、翌年度繰越額1億8,407万7,300円でございます、汚水管渠改良工事、こちらは農村集落家庭集配統合に伴う敷設替えの工事を繰り越していることによるものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 412、413ページの収益的収入、支出で、ちょっと説明、少しあったかと思うんですけど、聞き漏らしちゃったかもしれないんですが、支出の第1項 営業費用の流用で1,562万、これが営業外費用に流用されているんですけども、この流用はなぜ流用したんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 消費税額を支払うために流用しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 これ、営業費用と営業外費用で流用すると、経費回収率で影響してこないかなと思うんですけども、その辺りはどうですか、影響していますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 経費回収率の算定には影響しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 427ページの一番上の経常収支比率が上がっていますけども、これ、上がった要因は何でしょう。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 経費回収率の増加要因でございますけれども、失礼しました、経常収支比率の改善につきましては、経常収支比率は営業収益と営業外収益を合わせたものでございまして、昨年と比べて営業外収益の部分が増えていることによるものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 その要因は何だというふうに分析していますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 営業外収益が増えているのは、先ほど冒頭にございました他会計補助金が増えていることでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて認定議案第8号の質疑を終わります。

以上で、各認定議案の質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。

討論は一括して行っていただきますが、本会議でも当然討論ができ、重複することにもなりますので、できれば簡潔にお願いします。

なお、認定議案第8号は、利益処分についてと決算認定についてのそれぞれに討論をお願いいたします。

また、各会派での取りまとめも必要と思いますので、暫時休憩としたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） おおむね10分を目安でお願いします。9分30秒ぐらいですね。では、10分で。じゃ、46分再開です。

午前11時36分休憩

午前11時46分再開

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

討論のある方は挙手を願います。

では、青木委員。

○青木けんじ委員 会派清和を代表して、討論させていただきます。

認定議案第1号、豊明市一般会計歳入歳出決算認定について、認定議案第2号から第7号までの特別会計歳入歳出決算認定について、並びに認定議案第8号、豊明市下水道事業会計の利益処分及び決算認定について、全て賛成といたします。

詳しくは本会議の場にて討論させていただきます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 次は市民派の会ですね。

市民派の会、のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 市民派の会を代表して、討論します。

認定議案第1号、認定議案第2号、認定議案第4号、認定議案第5号、認定議案第6号について反対です。認定議案3号、認定議案7号、認定議案8号について賛成とします。

一般会計については、P D C Aが回せていない、そういった基金の使い方、積立てのルールが守られていないということです。介護とかそういった保険に対しては、保険料値上げに対して寄り添えていないということでもあります。墓園に対しては、指定管理の効果が薄いということです。

詳しくは本会議場で説明します。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） お尋ねします。第8号は利益、決算ともに賛成ということでしょうか。

○こんどうのぶお委員 はい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 続きましては、豊翔会、月岡委員。

○月岡修一委員 豊翔会を代表いたしまして、決算の認定第1号 令和5年度豊明市一般会計歳入歳出決算認定について、並びに第2号の特別会計から第7号の特別会計まで、そして、認定議案第8号 令和5年度豊明市下水道事業会計の利益処分及び決算認定について、全て賛成の討論とさせていただきますが、詳しくは壇上での説明とさせていただきます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 続きまして、未来クラブ、武谷委員。

○武谷としお委員 未来クラブを代表しまして、認定議案第1号、一般会計歳入歳出決算認定について、及び認定議案第2号から第7号、特別会計歳入歳出決算認定について、認定議案第8号の豊明市下水道事業会計の利益処分及び決算認定について、全て賛成といたします。

詳しくは本会議場にて討論いたします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 続きまして、公明党、鈴木委員。

○鈴木智和委員 認定議案第1号 令和5年度豊明市一般会計歳入歳出決算認定について、及び認定議案第2号から認定議案第7号の特別会計について賛成いたします。なお、認定議案第8号 令和5年度豊明市下水道事業会計の利益処分及び決算認定についても賛成いたします。

詳しくは本会議場で討論させていただきます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 日本共産党、郷右近委員。

○郷右近 修委員 令和5年度の認定議案第2号、そして第5号、第6号については、市民の費用負担が重いと感じるので反対です。

認定議案の第1号から第7号のうち、先ほど述べた以外の認定議案については賛成です。

認定議案の8号の利益処分及び決算認定について賛成です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 続きまして、たんぼぼ、ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 認定議案第1号、一般会計歳入歳出決算認定と認定議案第2号と第4号と第6号については反対、そのほかの認定議案については賛成します。

認定議案第8号に関しては、利益処分についても賛成といたします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 続きまして、清澄、清水委員。

○清水義昭委員 本決算特別委員会に付託されました案件について、全て賛成です。

詳しくは本会議にて討論させていただきます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 続きまして、ひまわり、堀内委員。

○堀内ちほ委員 認定議案第1号から第7号まで、認定議案第8号、下水道会計利益処分及び決算認定について、全て賛成といたします。

詳しくは本会議で討論いたします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて討論を終結し、採決に入ります。

採決については認定議案の番号順に行います。

初めに、認定議案第1号について採決を行います。

認定議案第1号は認定すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 賛成多数であります。よって、認定議案第1号は賛成多数により認定すべきものと決しました。

続いて、認定議案第2号について採決を行います。

認定議案第2号は認定すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 賛成多数であります。よって、認定議案第2号は賛成多数により認定すべきものと決しました。

続いて、認定議案第3号について採決を行います。

認定議案第3号は認定すべきものと決することに御異議はありませんか。

(異議なしの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 異議なしと認めます。よって、認定議案第3号は全会一致により認定すべきものと決しました。

続いて、認定議案第4号について採決を行います。

認定議案第4号は認定すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 賛成多数であります。よって、認定議案第4号は賛成多数により認定すべきものと決しました。

続いて、認定議案第5号について採決を行います。

認定議案第5号は認定すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 賛成多数であります。よって、認定議案第5号は賛成多数により認定すべきものと決しました。

続いて、認定議案第6号について採決を行います。

認定議案第6号は認定すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 賛成多数であります。よって、認定議案第6号は賛成多数により認定すべきものと決しました。

続いて、認定議案第7号について採決を行います。

認定議案第7号は認定すべきものと決することに御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 御異議なしと認めます。よって、認定議案第7号は全会一致により認定すべきものと決しました。

続いて、認定議案第8号について採決を行います。

この採決は利益処分及び決算認定に分けて行います。

初めに、認定議案第8号のうち、利益処分について、原案のとおり決することに御異議

ありませんか。

(異議なしの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 御異議なしと認めます。よって、認定議案第8号のうち、利益処分について、原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、認定議案第8号についてのうち、決算認定について、認定すべきものと決することに御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 御異議なしと認めます。よって、認定議案第8号のうち、決算認定について、全会一致により認定すべきものに決しました。

以上で、本委員会に付託されました認定議案の審査は全て終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に御一任願えますか。

(異議なしの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) ありがとうございます。委員会報告については例に従い提出をさせていただきます。

2日間にわたり長時間御苦勞さまでした。これにて決算特別委員会を閉会いたします。

午前11時56分閉会